あいちの印刷

2013.9
No.502

初秋の尾瀬沼

もくじ

愛知県印刷工業組合

本紙は再生紙を使用しています。

巻頭言

「琥珀色への誘い」

労務・新人教育委員長　**酒井　良輔**

日本のウイスキーづくりの歴史は、まだ一世紀にも満たない。にもかかわらず、五大ウイスキーに数えられ、伸長は著しい。琥珀の不定形がもたらす酔いの色合いとは。ストレート、ロック、水割り、そしてハイボール。グラスを片手に、ウイスキーの、人や社会のかかわりを想う。

とりわけ、シングルモルト・スコッチ・ウイスキーは、大麦麦芽のみを原料とし、銅製の単式蒸溜器ポットスチルで蒸溜される。麦芽の乾燥に、スコットランドの荒野に堆積した泥炭＝ピートを用いたことによるスモーキーフレーバーと香り高い個性豊かな風味が特徴だ。蒸溜所によってそれぞれ味わいの個性が異なるのも魅力で、単一の蒸溜所のモルト・ウイスキーのみを瓶詰めしたものがシングルモルト・スコッチ・ウイスキー。熟成にはシェリー樽、バーボン樽、プレーン樽が用いられ、それによってもモルトの風味・個性も変わってくる。私の一番のお気に入りといえば、「ザ・マッカラン」多くのコンペティションで№１となり、ハロッズのウイスキー読本で「シングルモルトのロールスロイス」と讃えられた銘酒。原料にゴールデンプロミス種の大麦を使い、スペイサイドで最小のポットスチルで直火焚き蒸留し、そしてシェリー樽醸成。赤みのかかった、桜の木のような色。甘くいい香り。甘さもあるが、少し赤ワインを飲んだ後のようなタンニンの雰囲気、シェリー樽の香りがたまらなく良い。熟した果実、芳醇なシェリー香、まろやかで複雑な味わいはただただ深い。

「山崎」日本におけるウイスキーの発祥の地、山崎。サントリーの創業者・鳥井信治郎が、本格的なウイスキーを日本でつくるため、蒸留所に適した環境として選んだこの地で、1923年、日本初のモルト蒸溜が行われ、ジャパニーズ・ウイスキーの歴史がスタートした。淡いゴールドで薄い紅茶のような色。和食にも合う口当たりスイートでなめらかな印象。

私がおすすめする日本のウイスキーは、「余市」ニッカウヰスキーの創業者・竹鶴政孝はスコットランドでウイスキーづくりを学び、当初は壽屋（現・サントリー）で山崎蒸溜所の設立に携わる。しかし、自ら理想とするウイスキーを追い求め独立。スコットランドの風土によく似た理想郷を見出し、1934年に余市蒸溜所を設立。創業以来、蒸溜は石炭の直火焚き。厳しい北の自然の中で熟成されたモルトは力強く豊かなコクとスモーキーフレーバーフィニッシュは長くそれでいて甘く香る。

さらに、ブレディット・スコッチの秀逸、「ロイヤル・ハウスホールド」とは、英国王室を指す言葉。1897年にジェームス・ブキャナン社が王室の依頼を受け、皇太子専用のブレディットをつくったことが名前の由来。このスコッチは飲める場所が限られ、一般に飲めるのは世界でも日本だけらしい。昭和天皇が皇太子時代にイギリスを訪れ英王室から送られたのが縁で、日本だけ特別に販売が許可されている。舌の上に絡みつくような濃厚な味わい。品のよいバランス。ハイランドのダルウィーニなど、希少価値が高いモルトとグレーン原酒45種類以上使い、洗練された上品に甘く長くフィニッシュが続く。

蒸溜したてのウイスキー原酒は無色透明。これをオークの樽に寝かせることで、熟成が進み、次第に琥珀色を得てウイスキーとなる。熟成に伴って樽の成分も染み出し、香りも深く複雑に、味わいもまろやかになっていく。

今宵は、好みのグラスを片手にあれこれ考え、憂いに浸るのもよし、さらなる期待に心を躍らせる。

メディアユニバーサルデザイン5原則

メディアユニバーサルデザイン（MUD）
～CSR活動と顧客満足度の実現の一助として～

誰もが違和感なく見やすい印刷物の制作を目指し

講師：浦久保 康裕
全日本印刷工業組合連合会MUD事業推進室
MUD協会／㈱一心社代表取締役専務

愛印工では、「メディアユニバーサルデザイン～CSR活動と顧客満足度の実現の一助に～」と題したMUDセミナーを、６月20日午後２時よりメディアージュ愛知において開催しました。講師には、全日本印刷工業組合連合会MUD事業推進室の浦久保康裕氏（㈱一心社専務）が招聘されました。以下、講演の要旨です。

■拡大するUD関連市場

メディアユニバーサル デザイン（MUD）は、誰もが安心して利用することのできる施設や製品の設計（デザイン）を目指すユニバーサルデザイン（UD）の思想に基づいています。そして、年齢や身体能力に関係なく、ひとつの物で多くの人に情報がきちんと伝わるよう、利用者の視点に立って作られています。

バリアフリーという言葉があります。このバリアフリーとは、「障壁（バリア）を取り除くことで、ハンディキャップのある人にも快適な普通の生活を送ることを可能にしよう」という考え方です。一方、ユニバーサルデザインとは、「バリアフリーから進化した概念として生まれ、あらゆる体格・能力・年齢・障害の有無に係わらず、誰もが利用できる製品・環境・サービスを創造する」という考え方です。

現在、UDに対し企業の取り組みが活発化しています。また、業界を超えた各種推進団体やNPOによる活動も顕著です。企業が経営方針としてUDを採用するケースが急激に増加していますが、その狙いは、競争優位を確立するためと、CSRの視点からです。

年々拡大するUD関連市場における共用品市場規模金額の推移をみますと、1995年で4,869億円であったのが、2000年には2兆1,924億円、2006年は2兆9,028億円、2009年には3兆4,302億円にも伸びています。この大きな市場を見逃す手はありません。そのために、いろいろな業種からの参入が見受けられるようになりました。

■情報もUDの対象

情報もユニバーサルデザインの対象です。人は、情報の8割以上を視覚から得ています。テレビや新聞、雑誌や書籍、インターネットや看板・掲示物など、目で見る情報が溢れています。ところがこれらの情報に対し、「見づらい」、「わかりづらい」という不満が多くあります。情報は誰もが容易に受け取れるようにしなくてはなりません。そのためには、「①伝えたい情報を正確に伝える、②平等に情報を伝える、③必要とされる情報を提供する、④誰もが便利で見やすい情報を提供する」などが重要になります。

ハンディキャップのある人それぞれに最適な情報を届けるためには、どのような配慮が必要なのか、その例を挙げながら説明してみます。

□情報受信のハンディキャップ①

障がい者（肢体・聴覚言語・視覚）別の配慮としては、肢体障がいは移動情報や施設情報など、聴覚言語障がいは情報伝達手段、視覚障がいは字体・文字の大きさなど、それぞれに配慮が必要となります。

その他、障がい者が困っていることとしては、「①紙がめくれない（肢体不自由者）、②掲示してある場所が見えにくい（肢体不自由者）、③たくさんの情報や文章が理解できない（言語障がい者、知的障がい者）、④各所の受付などで自分の名前を呼ばれても気がつかない（聴覚・言語障がい者）、⑤災害などの緊急事態が起こったときの現状把握ができない（聴覚・言語障がい者、知的障がい者）、⑥困っていること

が伝えられない（言語障がい者、知的障がい者）」などがあります。

また、障がいの種類によって必要な情報が違うケースがあります。例えば、車椅子利用者には、トイレ形状や段差などの移動情報が重要であり、色覚障がい者には、見分けづらさを解消するために、ピクトグラムを使うことで見分けやすくなります。

□情報受信のハンディキャップ②

色覚障がいは、日本人男性の約20人に1人、女性では約500人に1人、日本国内に320万人以上の人がいます。この人たちへの対応としては、色の使い方に配慮しませんと、伝えるべき情報が伝わらないという事態がおきてきます。例えば、色覚障がい者が困っていることには、「①カレンダーの赤字の祝日が見分けられない、②黒字で赤い文字の電光掲示板が読みにくい、③赤で示されている重要事項が気づかない、④路線図や時刻表など、色分けで表示されているものがわかりにくい、⑤色の違いによる凡例がわからない」などがあります。

□情報受信のハンディキャップ③

高齢者は、加齢とともに視覚・色覚が衰えてきます。特に、40代から白内障になる人が増え、80代、90代ではほとんどの人に白内障の症状が現れています。文字の大きさや書体、識別しにくい色に配慮する必要があります。白内障や弱視の人は、明度差のない配色がとても見づらいようで、明度の高い黄色は白との見分けも難しくなります。それを解消するには、コントラストに差をつけることで、識別しやすくすることができます。

高齢者（白内障など）が困っていることには、「①文字が小さくて読めない、②淡い色の文字が読みにくい、③長い文章を読んで理解するのが難しい、④新しい言葉や外来語がわからない、⑤紙がめくりづらい、⑥とっさの判断がしにくい、⑦新しい情報デバイスを使いこなせない」などがあります。

講演中の
浦久保講師

□情報受信のハンディキャップ④

外国人・子どもは、難しい漢字や表現では理解しづらいため配慮が必要です。日本に滞在する外国人が年々増加しています。外国人が困っていることには、「①和製英語を誤解してしまう、②宗教や文化的な理由から食事の原材料が知りたい、③緊急時に外国語での案内体制がない」などがあります。また、子どもが困っていることには、「①難しい漢字が読めない、②言い回しが難しくて理解できない、③興味が持てる楽しい情報がほしい」などがあります。

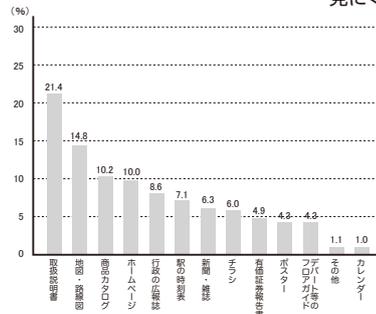
■MUD５原則

メディアユニバーサルデザイン５原則を考えてみます。

□伝わる／アクセシビリティ（接近容易性）＝　「見えない」「読めない」「手に入らない」などの情報の入手を妨げる要因を取り除くことへの工夫。

□便利／ユーザービリティ（使いやすさ）＝より快適に、

年々拡大するUD関連市場（共用品市場規模金額の推移）

見にくい印刷メディア

Axuas 私たちは、地球に優しい商品とサービスの提供を通して、
心豊かな社会の実現に貢献します。

次の世代に豊かな地球を残し、
皆様の幸せに貢献する企業でありたい。

紙・包材・LEDの
株式会社 アクアス

本社所在地 〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目25番35号
紙営業本部 TEL(052)220-5511 IP電話(050)3533-5511 FAX(052)220-5522
Home Page http://www.axuas.jp E-mail info@axuas.jp

視覚にハンディキャップのある人の見え方例

UDフォントの特徴（イワタUDゴシック）

高齢者、弱視者への配慮

点字を入れるなどして視覚障がいを持つ方にも判読できよう配慮

機能が多くなっても読みやすく判別しやすいようなフォントを使用することで使いやすい工夫をしている

使いやすさの工夫

開封口が分かりやすく、左右どちらにもあるので利き手を問わない

視覚障がい者への配慮

目の不自由な人には情報伝達手段にも配慮が必要。SPコードを利用した音声出力

より便利に、無理なく使える使い易さへの工夫。

□わかりやすい／リテラシー（意味の伝わりやすさ）＝内容がより理解しやすい言語、表現、構成による工夫。

□かっこうよさ／デザイン（情緒に訴える）＝情緒に訴え、行動を誘発するデザインによる工夫。内容にあったデザイン、見たいと思うデザイン、多くの人が楽しめるデザイン。

□やさしさ／サステナビリティ（環境対応と持続性可能性）＝「人にやさしい」製品は、環境にもやさしくなければ、本質的に人にやさしくはない。印刷物や包材の環境対応もMUDには必要。

以上の5原則をもとに、細かく見ていくことにします。

■見やすいメディア提供での考慮点

□文字を工夫する／①文字の大きさ：見えにくい書体、文字の違いがわかりにくい事例をあげてみました。②フォント（書体）：明朝体よりもゴシック体のほうが見やすいといわれています。特に、小さな文字ではゴシック体のそれも太さが均一で、ツブレに配慮されたフォントが適正です。UDフォントは、読みやすさの向上と誤読を防ぐために、ふところを広く、画線をシンプル化、飛び出しの削除と調整、ギャップの確保、アキの確保など、書体デザインに工夫がなされています。③行間隔・文字間隔：行や文字の間隔を詰めると、読みにくい文章になります。文字の大きさや字間・行間・余白のとり方で、高齢者・弱視者の方にも見やすくできます。

また、高齢者・弱視者への配慮として、点字を入れるなど判読できるようにしたり、機能が多くなっても読みやすく判別しやすいようなフォントを使用するなど、工夫が必要になります。

□色を工夫する／一口に色覚障がいといっても、人によって見え方は違ってきます。色覚障がい者にだけ配慮した使い

ピクトグラムを使う

明度の違う2色を使用して、視覚的な図（絵）によって直感的に情報を伝えるために使う。印刷物やパッケージで、文字表現を補完する方法として重要

方では、高齢者や一般の人には見づらいものになってしまうことがあります。色だけに頼らない識別方法の工夫として、「①識別しやすい色の組み合わせ、②色分けするだけでなく、色名・文字・記号・柄を使う、③線の太さや線種などで区別する、④色が接近する場合、明度差で区別する、⑤境界線に分離色を使用し区別する、⑥グラフの凡例は、グラフに直接明記するか引き出し線をつける、⑦種別で形を変える」などの工夫により、色覚障がい者の方にも配慮することが可能です。

■印刷メディアへの考察

□印刷物についての不満／①文字が小さい、②行間が狭い、③背景と文字が同色系で読みにくい、④色が多すぎてどれが重要かわからない。

□印刷物についての要望／①色づかい・レイアウトに工夫がほしい、②全体の情報量の整理が欲しい、③文字を大きくしてほしい、④フォント（書体）を変えてほしい、⑤写真や図を入れてほしい、⑥文字どうしの間隔を開けてほしい、⑦英語など日本語に直してほしい。

□見にくいと感じる印刷メディア／取り扱い説明書、地図・路線図、商品カタログ、ホームページなど。

□MUDが必要とされるところ／教育機関、出版社、教材・玩具メーカーなど。公共性の高い機関：官公庁、公共交通機関、新聞社、病院、電気・ガス・水道などの公共施設。危険、用法の告知機関：薬品、食品、機器の取り扱い、建築・製造現場、標識類、ハザードマップ類など。情報の公平が求められる機関：企業のIR情報、金融機関、生保・損保会社など。

■MUD製品認証制度

利用者本位の信頼性の高いMUDを普及させるために、NPO法人MUD協会では、MUD製品の第三者認定制度を行なっています。この制度は、MUDの適用範囲と定めています「印刷」「看板・サイン」「Webコンテンツ」の各制作物を独自の評価基準で審査し、適合製品を認証するものです。合格しますとMUD認証マークを発行します。このマークは「より多くの方が使いやすく見やすいメディア」であると認めた製品に付けることができます。

また、MUD協会では、メディアユニバーサルデザイン教育検定（MUD教育検定）を実施しています。個人認証制度で、3級合格者は「MUDアドバイザー」、２級合格者は「MUDディレクター」、１級合格者は「MUDマイスター」の称号が得られます。受験資格は、3級はどなたでも参加可能で、２級は3級有資格者、１級は２級有資格者になります。科目は、色覚部門とデザイン／組版部門の2科目です。

詳細につきましては、NPO法人メディア・ユニバーサル・デザイン協会／〒130-0023　東京都墨田区立川1-15-1　TEL03（3634）2970まで問い合わせ下さい。http://www.media-ud.org

■ゼロから始める“見える化”セミナーPARTⅡ
9月27日（金）18時20分〜20時40分
ウインクあいち　1203会議室

昨年６月に四日市市で開催した同セミナーの続編。見える化に取り組んで最初の決算を終えた３社が、取り組みの中で障害になったことや効果などについて具体的な数字を示して発表。

◎パネリスト：岩村貴成（㈱オフセット岩村 社長）、岡崎敦彦（㈱宣広プロ 専務）、富沢隆久（富沢印刷㈱ 社長）

◎コーディネーター：花房賢（日本印刷技術協会・教育コンサルティング部長）

◎コメンテーター：佐竹一郎（全印工連　教育・研修委員長、大東印刷工業㈱ 社長）

参加費：組合員3,000円、一般5,000円

なぜ、人材派遣はモトヤ？ それは、印刷関連業務に特化した人材派遣・紹介を展開しているのは、モトヤだけだから…
印刷関連業務のスタッフを必要なときに必要な期間だけ派遣します。
■派遣職種■
●コピーライター ●デザイナー ●WEBデザイナー
●DTPオペレーター ●スキャナーオペレーター ●CTPオペレーター
●印刷オペレーター ●校正 ●印刷進行管理者 など全般
人材を探している企業と仕事を探している人材の出逢いのサイト
M-JOB-N@VI
http://www.m-job-navi.com/
業界で一番お客様思考に立った印刷関連総合商社を目指す
株式会社 モトヤ
http://www.motoya.co.jp/
モトヤ人材派遣部 名古屋 ☎(052)935-5315　名古屋 〒461-0035名古屋市東区黒門町 128 ☎(052)935-5315
モトヤ人材派遣部 大　阪 ☎(06)6261-1941　大　阪 〒542-0081大阪市中央区南船場 1-10-25 ☎(06)6261-1931
モトヤ人材派遣部 東　京 ☎(03)3523-8719　東　京 〒104-0032東京都中央区八丁堀 4-5-5 ☎(03)3523-8711
派遣事業許可番号 般27-036254／紹介事業許可番号 27-ユ-036174　横浜・埼玉・千葉・京都・神戸・姫路・福岡

■愛印工・7月理事会・支部長会

レベルの高い活動を引き続き展開

従業員・家族合同レクリエーション大会
第４回ポスターグランプリなど開催

7月理事会・支部長会で挨拶する木野瀬理事長

愛印工の平成25年度７月期理事会（第３回）・支部長会（第１回）が、７月19日15時30分よりメディアージュ愛知３階会議室において開催され、活動報告と共に、今後の事業予定・開催内容が詳報されました。また、理事会に先立ち、全印工連が立ち上げた「クラウドバックアップサービス」の概要説明と、来年２月に開催される「PRINT NEXT 2014」の案内が行なわれました。

【CSR認定　愛印工組から３社認定】

冒頭挨拶に立った木野瀬理事長は、「理事会の開始前に、全印工連から皆さんの大切なデータを守るバックアップサービスの説明がある。維持・管理など、きめ細かいサービスが特徴になっているので、是非、ご検討をしていただきたい」と前置きし、今後の事業に触れ、「今期も大変盛りたくさんの事業が組まれています。昨年度の組合活動をみても、大変レベルの高いものがあると自負しています。今期も、各種セミナーの開催を始め、いろいろな行事が目白押しです。第４回ポスターグランプリの活動もスタートしていますので、組合員へのアピールも含め、皆様のお力添えをお願いします」と挨拶。

各委員会の事業報告の後、今後の事業予定が詳報されました。事業予定は別項参照。

次いで、①MUDセミナー（マーケティング委員会）、②経営セミナー（経営革新委員会）、③断裁機オペレーター特別教育（労務・新人教育委員会）、④アドビテクニカルセミナー（教育委員会）、⑤MUD教育検定３級（マーケティング委員会）の活動報告がされました。

その中で、各セミナーの聴講者に関して、MUDセミナーでは47名のうち印刷業以外から12名、学生7名が参加、断裁機オペレーターの特別教育には96名のうち10名が他業界から参加、MUD教育検定においても、受検者101名のうち、他業種から10名、学生５名の参加があり、印刷業以外からの参加者が増えた点が強調されました。

続いて、「用紙値上げに関するお願い状」、「全印工連CSR認定制度」、「中部地区印刷協議会上期会議」などに関して報告がされ、その中で、CSR認定制度に関しては、新日本印刷㈱、㈱マルワ、㈱二和印刷紙業の３社が、第１期ワンスター認定企業になったことが報告されました。

一方、支部長会においても、各支部の活動状況の報告が行われました。

愛知火災共済協同組合
本部　〒460-0011 名古屋市中区大須四丁目10番23号　TEL 052 (251) 6281
（上前津KDビル内）　FAX 052 (251) 7273

【今後の事業予定】

▼技能検定オフセット印刷作業（教育委員会）

▽実技試験（申し込み締め切り済み）＝日時：７月６日㈯、７日㈰、20日㈯、21日㈰、８月３日㈯、場所：㈱桜井グラフィックシステムズ岐阜工場、受験者：１級21名13社、２級15名11社、合計36名18社

※採点：９月７日㈯13時～（メディアージュ愛知)

▽学科試験対策学習会＝日時：８月31日㈯　13時30分～16時30分、場所：メディアージュ愛知、　受講料：１人4,200円、定員：１級30人、２級18人

※学科試験受験者を選考受付、定員に余裕がある場合に受験者以外へ案内

▽学科試験（申し込み締め切り済み）＝日時：９月１日㈰午後12時45分、場所：愛知学院大学日進学舎、受験手数料：１人3,100円（各級一律）、受験者：１級20名13社、２級11名７社、合計31名16社

▼メンタルヘルスセミナー（労務・新人教育委員会)＝日時：８月23日㈮15時～17時、場所：メディアージュ愛知、講師：斉藤政彦氏（大同特殊鋼㈱統括産業医労働衛生コンサルタント）

▼工場見学会（経営革新委員会)＝日時：８月30日㈮～31日㈯１泊２日、場所：㈱小森コーポレーションつくばプラント、㈱メディアテクノロジージャパンホワイトカンバスMON - NAKA、参加費：22,000円、宿泊先：東急ステイホテル門前仲町、定員：30名

▼ゼロから始める“見える化”セミナー PARTⅡ」（教育委員会)＝見える化に取り組んで最初の決算を終えた３社が、取り組みの中で障害となったことや効果について、具体的な数字を示して発表。日時：９月27日㈮18時20分～20時40分、場所：ウインクあいち、パネリスト：岩村貴成氏（㈱オフセット岩村代表取締役社長)、岡崎敦彦氏（㈱宣広プロ専務取締役)、富沢隆久氏（富沢印刷㈱代表取締役社長)、コーディネーター：花房賢氏（日本印刷技術協会教育コンサルティング部長)、コメンテーター：佐竹一郎氏（全印工連教育・研修委員長、大東印刷工業㈱代表取締役社長)、定員：80名、※参加費など詳細調整中

▼従業員・家族合同レクリエーション大会（労務・新人教育委員会)＝日時：９月29日㈰日帰りバス旅行、場所：りんご狩りと馬籠宿ウォーキング、参加費：大人１人3,500円、小人１人2,500円、昼食と座席不要の乳幼児は無料、※バス１台105,000円での貸切も可能、定員：240名、申し込み締め切り：８月23日㈮

▼マーケティングセミナー（マーケティング委員会)＝日時：10月８日㈫18時30分～20時40分、場所：ウインクあいち、講師：竹内謙礼氏（経営コンサルタント）、※詳細調整中

▼永年勤続優良従業員表彰（労務・新人教育委員会)＝日時：(表彰日）11月１日㈮、場所：各事業所、内容：(勤続10年以上）全印工連会長及び愛知県工組理事長表彰、(勤続15年以上）愛知県知事表彰、※詳細調整中

▼第４回ポスターグランプリ（三役直轄事業)

▽応募作品受付期間＝８月20日㈫～９月7日㈯、平日９時～17時、最終日は12時まで（９月７日以外の土・日は受け付けない)

▽入賞・入選作品展＝日時：11月６日㈬～10日㈰10時～18時　※金曜日は20時まで、最終日は16時まで、場所：愛知県美術館８階ギャラリー

▽入賞者表彰式＝日時:11月10日㈰10時30分～12時、場所：愛知芸術文化センター12階アートスペースA

■愛知労働局労働基準部労災補償課

「胆管がん」が業務上疾病と認められました！

胆管がんについて、些細なことでも相談・連絡を呼掛け

愛知労働局労働基準部労災補償課より、「『胆管がん』が業務上疾病と認められました!」との通達が届きましたので以下に報告します。

「平成24年に大阪で発覚した印刷関連事業場で働いていた労働者に発症した『胆管がん』が業務上疾病として認定されました。愛知労働局管内においても印刷会社で働いてみえた労働者の『胆管がん』を業務上として認定しています。

『胆管がん』は、有害物質の暴露から発症までに長い期間を必要とすることから、発病された労働者や遺族の方が業務との因果関係に気が付かないケースが多く見受けられます。

愛知労働局では、業務により『胆管がん』を発病された労働者及び亡くなられた遺族の方に労働保険を受給していただくため周知を強化しています。従業員や同僚の中に『胆管がん』を発病している方、『胆管がん』でお亡くなりになられた方をご存知でしたら、お近くの労働基準監督署に相談するようお声掛けいただきたいと思います。

『胆管がん』が業務上と認定される可能性があるケースは、『過去に印刷機の洗浄・払拭作業のように、1,2-ジクロロプロパン、ジクロロメタンなどを用いた溶剤に高濃度に暴露された方』で、『若くして胆管がんを発症した方』とされています。また、胆管がんの発症や死亡から長期間経過している場合でも、労災保険が支給される可能性があります。

監督署職員が丁寧に説明させていただきますので、些細なことでも相談・連絡をいただくようご協力をお願いします」。

■1,2-ジクロロプロパンが規制物質に（平成25年８月13日　政省令公布）

1,2-ジクロロプロパンについて、長期間の高濃度ばく露により胆管がん発症の蓋然性があることから、特定化学物質として関係政省令により新たに規制されることになりました。また、３年以上従事していた一定の労働者は、労働局への申請により健康管理手帳の交付を受け自己負担なく健康診断を行うことができるようになります。

この改正政省令は、一部を除き、平成25年10月１日から施行されますので、必要な健康障害防止措置のうち重要なものを紹介します。

１　0.1%以上　1,2-ジクロロプロパンを含有するものを譲渡などする場合、容器に既定の表示をしなければならないことになりますので、譲渡を受ける（購入等する）場合、表示の有無を確認してください。

２　洗浄・払拭の作業を行う場合、一定の技能講習修了者から「特定化学物質作業主任者」の選任が必要になります。選任については、来年９月30日までの経過措置が定められていますので、それまでは、作業指揮者の選任を行ってください。

３　屋内作業現場等の設備に密閉設備・局所排気装置など発散抑制措置を設置し、発散を抑制していただくことになります。なお、経過措置・適用除外があります。

４　健康診断や作業環境測定を行っていただき、その記録を30年間保存しなければなりません。

▼労災認定については、愛知労働局労働基準部労災補償課に相談を。〒460-8507 名古屋市中区三の丸2-5-1名古屋合同庁舎2号館 TEL052(972)0261

■愛印工・東南支部主催セミナー

〝知っておきたい経営者と幹部社員の心得〟

㈱マルワ鳥原久資社長が講演

愛知県印刷工業組合・東南支部（田中賢二支部長）は、６月28日メディアージュ愛知において、㈱マルワ鳥原久資社長を講師に招き、「知っておきたい後継者と幹部社員の心得～失敗の繰り返しで学んだ極意～」と題したセミナーを開催した。セミナーは聴講者が多く、２時からの部と４時からの部の２回に別けて開催された。セミナーは、「先代の経営」、「後継者の実践」、「後継社長と幹部社員のあるべき姿」の３項目を柱に、鳥原社長が同社に入社以来今日までたどってきた経緯が紹介された。

㈱マルワの創業は1958年。鳥原社長は、愛知教育大学を卒業後８年間、小学校、中学校の教諭として勤務。1989年同社に入社している。「丁稚奉公せずにいきなり父の会社へ入社。当時の会社の実態と前職とのギャップの大きさに驚かされた」という。その中で、展開した経営の三本柱が「①企業価値の向上／業界では珍しい品質、環境、情報のISO取得。②事業のソフト化／社員主体の取り組みを発信し差異性を出す。③企画力の育成／マーケティングを自社目線で体感し、社員の意識改革を行う」で、「印刷業として特色を持つための改革」であったという。

鳥原社長は、後継社長として〝やってませんかこんな事〟として、「①人の話を聞くことより話す方が好き、②学ぶことに専念してアウトプットできていないか、③先代と会話がない、④先代を超えなければならないと考えていないか」をあげ、〝焦っていませんかこんな事〟として、「①今すぐにでも優秀な人がほしい、育成したい、②正しいか否かわからない、③先代とそもそも時代背景が違う、④成功パターンを求め過ぎていないか、⑤すぐに成果を求めていないか」などを指摘。

一方、事業継承の観点から、社長就任前にやる事として、「①先代の業績を認める、②自分を理解してくれる先代からの社員を見極める、③先を見据えた人材育成、④感情ではない先代との議論は必要、⑤経営計画書を自身で作る（社員に対してのメッセージの発信）」などをあげ、社長就任後に努める事として、「①小さなことをこつこつと積み重ねる、②社長の背中を社員は見るもの、③経営の考え方次第で「社長」としての振る舞いは変わる。強力なリーダーシップをとるか、徹底的に人にやらせるか」をあげた。幹部社員の育成では、「①他流試合を経験させる、②権限を委譲してみる（期限付きで）、③効率を求めない、④社長・専務と表裏を作らない、⑤右腕を作ろうと思わない」などを必要とした。

最後に鳥原社長は、リーダーの条件として、「伝え続けること、言葉は人を動かす、怒りは人間関係を悪化させる」と指摘し、社長と社員の関係については、「社長と社員の考え方は違ってあたりまえ、社員の活躍の場を与えることが社長の仕事」と位置付けた。

●身近な催し物のお知らせ（愛印工組関係）

開催日時	事業・行事、場所、備考	
9月17日(火)	事業名	断裁機オペレーター「特別教育　学科教育」
	ところ	メディアージュ愛知　3階 大会議室
	参加費：組合員5,000円・一般10,000円 定員：40名　申込期日：9月10日	
9月27日㈮ 18:20～	事業名	ゼロから始める"見える化"セミナー PARTⅡ ～"見える化"を取り入れてからの具体的な収益改善報告～
	ところ	ウインクあいち　1203会議室
	参加費:組合員3,000円･一般5,000円 定員:80名　申込期日:9月13日㈮ 昨年6月に四日市市で開催した同セミナーの続編です。"見える化"を取り入れた後、最初の決算を済ませた結果等を3社から具体的に数字を示しながら報告して頂きます。	
9月27日㈮ 16:00～	事業名	全印工連特別ライセンスプログラム 更新・新規募集セミナー
	ところ	ウインクあいち　1203会議室
	参加費：無料　定員：80名	
9月29日㈰	事業名	平成25年従業員･家族合同レクリエーション大会
	ところ	リンゴ狩り・馬籠宿ウォーキング
	参加費:大人(中学生以上)3,500円 子供2,500円(座席と昼食の不要の幼児は無料) 定員：240名 ※会社･支部等でのバス貸切は1台につき105,000円	
10月8日㈫ 18:30～ 20:40	事業名	第1回マーケティングセミナー
	ところ	ウインクあいち　1101会議室
	講師：竹内謙礼氏（経営コンサルタント） 参加費:組合員1社につき1名4,000円･2人目からは 1人3,000円　一般6,000円 定員：80名	

紙でご愛顧65年

印刷用紙専門商社

名古屋紙商事株式会社
社長 長谷川 志
名古屋市東区主税町4-63　〒461-0018
TEL.052-931-2221(代)　FAX.052-932-1418
豊山加工センター　愛知県西春日井郡豊山町豊場
TEL（0568）28-2049

愛印工／労務・新人教育委員会

断裁機特別講習会開く

「安全は使う人の心掛けひとつ」

愛印工／労務・新人教育委員会では、断裁機業務に従事する者は、特別教育を受けなければ従事できない、とする労働安全衛生法を遵守するため、７月８日午前10時より名古屋市中小企業振興会館第３会議室において、断裁機の安全な操作方法を学ぶ講習会を開催した。断裁業務に従事するオペレーターなど100名が受講した。

労働安全衛生法並びに関係法令では、断裁機を使用して断裁業務を行なう者への特別教育受講（学科８時間／実技３時間以上）が義務付けられており、違反した場合は罰金の適用もある。

印刷関連業界内では、法令の認識がないまま断裁業務に携わるケースも多く見受けられることから、全日本印刷工業組合連合会では、各県の印刷工業組合に法令の周知と特別教育の実施を要請してきた。

講習会冒頭、愛印工岡田邦義副理事長は、「本日は８時間に及ぶ長丁場となるが、この講習で安全に対する知識と意識を身に付けていただき、くれぐれも事故のないよう、安全に働ける職場環境づくりに活かしてほしい」と述べた。

講習会講師には、断裁機メーカーのイトーテック㈱原田文夫営業本部相談役が務めた。原田講師はその中で、①関係法令の概要／労働安全衛生法、安全衛生特別教育規程、②断裁機の安全装置の種類と機能／両手式、光電式操作、安全装置の切り替え、③作業開始前の点検手順／停止中の点検と作動試験、異常を発見した場合の対処について、④断裁機作業／刃部の点検手順及びナイフ交換、作業基準、⑤断裁作業の安全心得／事故や災害の発生する要因の認識、職場の安全基準、一般的な安全心得などについて詳細に解説した。

特に、事故防止のため大切なこととして、「安全装置があるからといって軽率な扱いは慎まなければならない。断裁作業の安全性は、使う人の心掛けひとつ。作業にあたっては、絶えず注意を怠らず臨むことで、事故を防ぐことができる」と注意を喚起した。

なお、講習終了後、受講者に学科講習「修了証書」が手渡された。また、実技講習は、今後、各支部単位で行なわれることになっている。

愛印工／教育委員会

アドビテクニカルセミナー2013夏の陣

「Adobe Creative Cloudの概要と新機能」紹介

愛印工／教育委員会と全日本印刷工業組合連合会／教育・研修委員会共催による「アドビテクニカルセミナー2013夏の陣」が、７月12日午後１時より、名古屋駅

「アドビテクニカルセミナー2013夏の陣」

□全印工連
「クラウドバックアップサービス」開始

地震・火災・盗難・人為的事故からデータを守る
簡単操作／安全・安心／リーズナブル

全日本印刷工業組合連合会は、組合員企業の災害時対策として、東京と北九州の２ヵ所のデータセンターにデータを預けることができる「クラウドバックアップサービス」を開始する。

組合員企業のBCP（事業継続計画）における活用が期待される。このサービスは、「簡単操作」、「安全・安心のセキュウリティ」、「リーズナブル」が大きな特徴となっている。

【大切なデータを守る備え】

今回のクラウドバックアップサービスは、全印工連と画像処理機器・OA機器のベンダー㈱Too（石井剛太社長・東京都港区）との提携により実現したもの。このサービスを活用することで、地震や水害などで自社のデータを損傷したとしても、データを速やかに復元することができる。

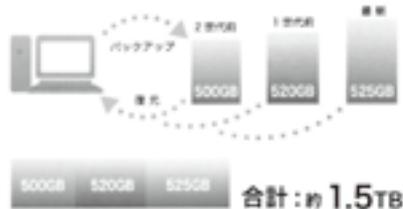
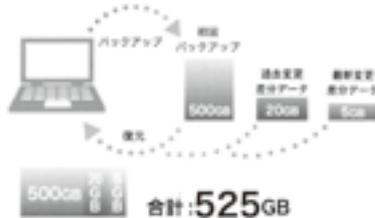
【大きな特徴】

①簡単操作／ソフトをインストールして、バックアップするファイルを選択するだけで、すぐにクラウドへバックアップ。②安全・安心のセキュリティ／東京・北九州の２拠点の国内最高レベルのデータセンターへ暗号化してバックアップ。③リーズナブル／破格のプライスを実現。大容量データのバックアップをリーズナブルに提供。

バックアップは、マックOSXにもWINDOWSにも対応（メモリ1GB以上、ディスク容量250MB以上の空ディスク容量、モニタ800×600以上のディスプレイ解像度）。バックアップするデータは、自動的に2重暗号化されるので安心。

【費用】

初期費用：19,800円、月額利用料金：19,800円（1TBコース）、9,900円（500GBコース）、利用台数１台。容量追加は500GBごと月額利用料金に9,900円加算。（金額は全て税別）

従来型

クラウドバックアップサービス

効率的な世代管理／①インクリメンタルバックアップ／新たに追加されたデータのみバックアップ、②ブロックレベルの重複排除／データ内の一部に変更が加えられた場合、変更された部分のデータのみをバックアップする

前のウインクあいち（愛知県産業労働センター）で開催された。出席者は73名。

セミナーは、松岡祐司愛印工教育委員長の挨拶の後、Creative Cloud（CC）の概要、InDesign CCセッション、Illustrator　CCセッション、Photoshop　CCセッションについて新機能紹介、互換性情報、出力に関する情報などが紹介された。

セミナーでは、「Adobe MAX2013」でAdobe Creative Cloudのアップデートが発表され、ＣＣ版が提供開始されることにあわせ、Creative Cloudの概要及びDTP関連ツールのアップデートを中心に、新機能の紹介、互換性にかんする情報、出力に関する情報などが詳しく紹介され、参加者は不明点があれば、その時に質問する形で進められた。

また、最後には質疑応答の時間も設けられた活発な意見交換が行なわれた。

■「PrintNext2014」開催概要発表

テーマ「常識をぶち壊せ！」
新たな価値観と知識、判断力がInsatsuの未来を創造

日時：2014年2月15日㈯
場所：ウインクあいち

「Print　Next」は、全国の印刷会社の若手経営者やメーカー・ベンダーが所属団体の枠や立場を超えて、企画・運営するイベント。04年の初開催から数えて６回目を迎える今回は、「常識をぶち壊せ！当事者の時代～新たな価値観と知識、判断力が、これからのInsatsuの未来を創造する」のテーマを掲げ、初となる東海地区を舞台に開催される。

開催コンセプトとして、６つの視座が掲げている。「①時代の変化を体感し現状を認識して、固定観念を一新する。②新たな価値と常識、未来を創造するために必要な具体的手法を学ぶ。③未来へ繋ぐ。④産業としての功績を知る。⑤今の取り組みを学ぶ。⑥それぞれの想いをシェアし、学び合い、語り合う」。

開催内容は、式典、「未来の印刷大賞」表彰、オープニング企画、分科会、懇親会、常設展示「未来の印刷大賞」「リバプリ復刻展」などが予定されている。

今後の最新の動向については、PrintNext 2014のホームページ、フェイスブックで情報を発信していく。

▼主催＝PrintNext2014運営委員会
▼構成団体＝全国青年印刷人協議会（滝澤光正議長）、全国印刷緑友会（井上雅博会長）、日本青年会議所印刷部会（庄子恵部会長）、日本グラフィックサービス工業会SPACE-21（中村盟代表幹事）
▼協力＝愛知県印刷工業組合
▼開催日時＝2014年2月15日㈯AM10時
▼場所＝ウインクあいち（名古屋市中村区名駅4-4-38）

□「未来の印刷大賞」作品募集
－「未来の印刷」をテーマに、絵と作文を募集－

「PrintNext2014」では、小・中学生を対象に「未来の印刷」をテーマにした「絵」「作文」を募集している。いつも身のまわりで目にする印刷物は、これからどのように進化していくのか、自由な発想で未来の印刷を表現。

▼作品テーマ：「未来の印刷」
▼応募対象：小・中学生
▼絵部門：A3規格（420×297㎜）、もしくは、画用紙八つ切り（390×270㎜）に描く。
▼作文部門：市販の原稿用紙３枚（1,200字）以内。
▼締め切り：10月15日㈫必着

□「未来の印刷」大賞2014 作品募集
－芸術学生コンペティション－

全国の大学、短大、専門学校、高等学校で芸術やデザインを学ぶ学生を対象に「新しい」と「ミライ」両方のテーマを結びつけたアートワーク作品を募集。

▼作品テーマ：「新しい」「ミライ」
▼応募対象：全国の芸術学生（大学・短大・専門学校・高等学校）
▼サイズ：B1判（1030×728㎜）以内
▼締め切り：10月15日（火）必着

※両応募作品の送り先は、全日本印刷工業組合連合会事務局「未来の印刷」大賞係　〒104-0041　東京都中央区新富1-16-8日本印刷会館内　TEL03（3552）4571

■会社移転

原啓印刷㈱名東区に移転

原啓印刷㈱は、同社本社ビルの老朽化に伴い本社・工場をリニューアルするため下記住所に移転した。

新住所：〒465-0025 名古屋市名東区上社1-119　TEL052（776）7011、FAX052（776）7055

■訃報

―謹んでご冥福をお祈りいたします―

後藤印刷紙工㈲後藤明博社長のご尊父、後藤稔様（同社前社長）は７月31日ご逝去されました。葬儀・告別式は８月２日愛知県清須市の「セレモニー鳳凰殿」において執り行われました。

事務局だより

■暦の上では立秋となり、そろそろ秋の気配が感じられるのか、と思ったのもつかの間、連日の猛暑（炎暑）でうんざり。この夏ほどこの言葉が踊った年はなかったのではないでしょうか！　■先月号はお盆休みの関係で、掲載記事を先取りして制作しております。そのために、今月号の記事は若干時間的なズレがありますこと、お詫びいたします。■「あいちの印刷」機関誌が7月号で500号を迎えたことは先月号でお知らせしました。現在、鋭意500号記念号（増刊号）の制作を進めております。組合員の皆様にお役に立つ増刊号にしたく思っておりますが、何かアドバイスがありましたらお知らせ下さい。

あいちの印刷　No.502
平成25年 9 月 10日発行
発行人　木野瀬　吉孝
編　集　組織・共済委員会
発行所　愛知県印刷工業組合
〒461－0001　名古屋市東区泉一丁目20番12号
メディアージュ愛知１階
TEL〈052〉962－5771
FAX〈052〉951－0569
◆ホームページアドレス　http://www.ai-in-ko.or.jp/
◆E-mailアドレス　jimukyoku@ai-in-ko.or.jp